

# 有毒な甲虫類

皮ふ炎をおこす虫



アオカミキリモドキ 体長15mm



ツチハンシヨウの一種 体長10~30mm



マイマイカブリ 体長40~50mm

発生時期												
月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
発生												
多い												

甲虫の仲間にも悪役が存在します。東京ではそれほどの被害例はありませんが、郊外や山間部の住宅、あるいはハイキングなどで山を歩いて被害を受けることがあります。

## 生態

アオカミキリモドキは多摩地区の雑木林に分布し、夏の夜、明りを求めて室内にとんできます。

つまんだりつぶしたりすると体液が出て、皮ふにつくと数時間後にヤケドのような水ぶくれになります。表皮が破けるとヒリヒリと痛みます。

ツチハンシヨウ類は奥多摩などの山間部に分布します。山道で見かけることが多く、うっかりつかむとアオカミキリモドキと同様の被害を受けます。

マイマイカブリは河原や雑木林にいて、地面を歩いています。腹部から刺激臭のある液体を噴出し、皮ふにつくとビリビリと痛みます。

## 防除と応急処置

これらの虫は素手で触らず、紙などをあてて捕らえます。炎症を起こした場合は患部を清潔にし、ケガなどの時に使う消毒薬を塗ります。